

平成 28 年度第 3 回 IODP 部会執行部会議事録

日時:2016 年 9 月 8 日(木)14:00~17:40

場所:海洋研究開発機構 東京事務所 大会議室

出席者:

執行部:西 弘嗣(部会長・東北大学) 村山雅史(部会長補佐・高知大学)
池原 研(産業技術総合研究所) 黒柳あずみ(東北大学) 齋藤めぐみ(国立科学博物館)
中西正男(千葉大学) 針金由美子(産業技術総合研究所) 道林克禎(静岡大学)
森下知晃(金沢大学) 山田泰広(JAMSTEC)横山祐典(東京大学大気海洋研究所)

リエゾン:小村健太郎(陸上掘削部会長・防災科学技術研究所)

オブザーバー:木村 学(J-DESC 会長・東京海洋大学)

沖野郷子(科学推進専門部会長・東京大学大気海洋研究所) 牧武志(文部科学省)

江口暢久(CDEX/JAMSTEC)

事務局:品川牧詩 高橋可江 双木真理子(JAMSTEC)

欠席者:大河内直彦(JAMSTEC) 安間 了(JRFB 委員・筑波大学) 川村善久(経営企画部/JAMSTEC)
高橋嘉夫(東京大学)

議事次第(案)

1. 前回会議(160713)議事録(案)確認..... 資料 1
2. IODP の動向
 - ・掘削航海動向報告 資料 2-1, 2-2
 - ・科学推進専門部会からの報告(プロポーザルの現状ほか) 資料 3-1, 3-2
 - ・国際委員ローテーションについて(SEP、EPSP、JRFB、CIB) 資料 4
 - ・EPSP 報告 資料 5
 - ・Kanto Asperity Project の再検討 資料 6
 - ・IODP 成果報告会 資料 7-1, 7-2, 7-3
3. J-DESC 関連
 - ・ちきゅう特別見学会(石巻港)報告 資料 8
 - ・ちきゅう特別見学会(高知港)の検討 資料 9
 - ・地質学会ブース展示 資料 10
 - ・JpGU-AGU ジョイントセッション
 - ・乗船応募者の採択率・定着率等調査報告 資料 11
 - ・ちきゅう国際乗船スクールアンケート報告と今後について 資料 12
4. 陸上掘削部会の動向
5. その他
 - ・IODP 航海によって得られた成果の公開について 資料 13
 - ・ちきゅう掘削鉱物科学シンポジウムについて 資料 14
 - ・その他
 - ・次回執行部会開催日程確認

配布資料

資料 1	前回執行部会(160713)議事録(案)	資料 7-2	過去例① IODP 成果報告会プレス発表
資料 2-1	掘削航海スケジュール	資料 7-3	過去例② IODP 総括シンポジウム概要
資料 2-2	乗船決定・応募者リスト	資料 8	ちきゅう特別見学会(石巻)開催報告
資料 3-1	科学推進専門部会(160830)議事録(案)	資料 9	ちきゅう特別見学会(高知)検討案
資料 3-2	アクティブプロポーザルリスト	資料 10	地質学会出展概要
資料 4	国際委員ローテーション	資料 11	これまでの IODP 航海応募者について
資料 5	EPSP 報告書	資料 12	ちきゅう国際乗船スクール 2016 総括
資料 6	KAP(707, 770)プロポーザルカバーシート	資料 13	IODP 航海で得られた成果公開について
資料 7-1	IODP 成果報告会について	資料 14	ちきゅう掘削鉱物科学シンポジウムチラシ

議事録(案)

1. 前回(160713)議事録(案)確認 資料 1
一部記載について修正のうえ、議事録案が承認された。

2. IODP の動向

・掘削航海動向報告 資料 2-1, 2-2
事務局より資料に基づき報告がなされた。

・科学推進専門部会からの報告(プロポーザルの現状ほか) 資料 3-1, 3-2
沖野専門部会長より資料に基づき報告がなされた。

- ・863A-Pre ISOLAT は Deactivate されたが、SEP においてロングピストンコアの提案をどのように扱うか方針が決まっていない。次に Pre を出す際にカバーレターとして提出すべきとの意見があり、科学推進専門部会がプロポーネントと相談し対応することとなった。
- ・事前調査については公募航海等を利用した提案者の努力だけでは難しく、コミュニティとして支援要請が必要である。

実行項目(160908-01):道林委員がサイトサーベイにかかる情報提供のうえ、今年度内を目途に IODP 部会長名で JAMSTEC 理事長宛てに事前調査の支援に関するレターの提出を行う。

合意事項(160908-01):今後、SEP 委員を決定する際に科学推進専門部会長に出席頂く。

・国際委員ローテーションについて(SEP、EPSP、JRFB、CIB) 資料 4
事務局より資料に基づき説明があった

・EPSP 報告 資料 5
事務局より資料に基づき説明があった

・Kanto Asperity Project の再検討 資料 6
西部会長より資料に基づき説明があった
・新規の単発プロポーザルとして構成しなおすべきと意見があった。

合意事項(160908-01):今後の方向性については、木村会長、西部会長が相談し進めて行く。

・IODP 成果報告会 資料 7-1, 7-2, 7-3
事務局より資料に基づき説明があった

実行項目(160908-01):村山部会長代理、山田委員、森下委員、横山委員、小村陸上掘削部会長が WG メンバーとなり、10 月当初までに大枠を決定する。

3. J-DESC 関連

・ちきゅう特別見学会(石巻港)報告 資料 8
事務局より資料に基づき説明があった

・ちきゅう特別見学会(高知港)の検討 資料 9
事務局より資料に基づき説明があった
・15 名×3 グループで対応する形としてはどうか。

実行項目(160908-01):特別見学会は 11 月 12 日(土)とし、その対応者として村山部会長代理が他に 2 名を指名し事務局に連絡する。

・地質学会ブース展示 資料 10

事務局より資料に基づき説明があった

・JpGU-AGU ジョイントセッション

西部会長より資料に基づき説明があった

- ・セッション提案についてどのようにするかメンバーを決めて検討する。
- ・関連セッションが重複しないようにすべき。
- ・提案の締切は 10 月 13 日。

実行項目 (160908-01) : 村山部会長代理、山田委員、森下委員、道林委員 (オブザーバーとして) がメンバーとなり、セッション提案についてメールベースで議論する。

・乗船応募者の採択率・定着率等調査報告..... 資料 11

事務局より資料に基づき説明があった

・ちきゅう国際乗船スクールアンケート報告と今後について..... 資料 12

事務局より資料に基づき説明があった

- ・どのような意図で J-DESC が実施するか、実施内容をどうするかについて、次回議論を行うこととする。
- ・コアスクールを「ちきゅう」船上で行うというオプションもあるだろう。
- ・単位認定を行うことも検討してはどうか。

4. 陸上掘削部会の動向

小村部会長より報告がなされた。

- ・Dseis、オマーン掘削、ICDP トレーニングコース、ICDP OSG ミーティングに関する進捗報告があった。

5. その他

・次回執行部会開催日程確認

11/11 の週として事務局より日程調整を行う。